



今井 悟

Satoru Imai

分野 地質学（特に堆積学、古生物学）

◆ 専門分野は？

地層や化石、岩石など、地質全般を担当しています。なかでも地震や津波がつくる地層や、過去の生物の巣穴や足跡、糞などが地層中に残ったもの（生痕化石）が特にお気に入りです。ジオパーク活動に関わってきた経験から、地質遺産の保全や活用にも興味があります。

◆ この道に進んだきっかけは？

幼いころ、恐竜図鑑に掲載されていた恐竜以外の化石が好きでした。それからずっと石を拾い集め続けています。前職のジオパーク専門員時に、地域の自然に関する記録を残し、伝えていくことの大切さを実感。博物館で働きたいと思い、2021年4月から現職です。

◆ どんな仕事をしているの？

地質に関する研究や標本の収集のほか、地層学習の講師、恐竜など地質学に関係する企画展の担当、研究報告書・新聞記事・テレビ番組「サヒメルうおっち」の編集、普及講演などなど様々な機会を通して、自然の魅力を皆さんにお届けする仕事をしています。

◆サヒメルのここを見に来てね！

新館にある地層のはぎ取り標本がおススメ。自然が作り出した模様を楽しみながら、大昔の様子を想像してみたいです。ただし、地層から大昔のことを想像するためには、現在の自然環境や動植物のことを知っておくことが大切です。なので、できれば全部見て！

◆研究や普及の活動です！

<論文や書籍>

今井悟 (2024) 島根県浜田市三隅町大島で発見された礫質堆積物 (予報). 島根県立三瓶自然館研究報告, 22, 35-40.

今井悟 (2024) 島根県大田市鳥井海岸における福德岡ノ場 2021 年噴火起源軽石の漂着とその時間変化. 島根県地学会会誌, 39, 17-22.

今井悟 (2024) 埋没黒ボク土に見られる生痕化石 Taenidium とその古生態：島根県三瓶火山南東山麓の事例. 日本古生物学会第 173 回例会講演予稿集, 46.

今井悟・中山健太郎 (2023) 島根県隠岐島前に分布する下部中新統美田層より産出した淡水生貝類化石群. 日本古生物学会第 172 回例会講演予稿集, 49.

Imai, S., and Nara M. (2022) Very thickly bedded event deposit in the lower to middle Miocene Shirahama Formation, southwest Japan. The Journal of the Geological Society of Japan, 128, 129-130.

<館外での普及活動>

「地層観察」(2023.3; 大田市) 太田市立志学中学校

「三瓶山の成り立ちと自然－登山で楽しむ三瓶の成り立ちと暮らし－」(2022.10; 大田市) 日本勤労者山岳連盟中国地方協議会主ハイキング交流集会

「日本海拡大期の海成層から地震・津波堆積物を探して」(2022. 7; 大田市) 島根県地学会令和 4 年度総会・研究発表会 特別講演